

昭和医科大学烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕広報委員長 真田 建史

〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕03-3300-5231(代表)

第 2 2 9 号

〔2026年9月1日〕

依存症 医療機関連携会議 報告

准教授 常岡 俊昭

2026年7月17日 烏山病院で依存症治療に関する懇話会を行いました。

普段お世話になっている、医療機関、行政、作業所、当事者団体などから幅広く参加して頂いて烏山病院との連携で困っていることやこれからこういうことができるのではないかと希望を共有しました。昨年は全体で行ったところ、自己紹介の時間が長くなり具体的な連携に踏み込めることが少なく「何かあったら声かけてください」で終わってしまったケースも多かったので、今回は5班（対面4班+オンライン）に分かれてそれぞれ、常岡・伊宝田師長、山田 Dr, 田崎 OT, 宮本 PSW に司会をやってもらって具体的な連携について話してもらいました。その中では色々な情報が見にくいので一元化してほしいとの依頼があり、各施設が持っている家族会の情報を一覧化して表にして配布し（現在作成中）、大きな会場で色々な施設が説明する合同説明会みたいなものを開いたら楽しい、依存症版の人生ゲームなど作りたい、など様々なアイデアが出てきました。

参加して頂いた方々からは班が違うとしっかり交流できないという指摘もありましたが、終わった後に各々名刺交換などしていただき烏山を介さないでも横のつながりがしっかりとできる一助になっていたらと思っています。

依存症治療は誰もが持つ生きにくさ対しての対処法を様々な立場の人たちが自分たちの経験や知識を基に考えながら、一人では考えないことをたくさんで相談すれば考えつく、が基本なのかなって思っています。そしてそれは依存症治療に限らないんじゃないかとも考え始めています。

理想の精神科医療ってどんなだろう、ぜひ皆さんの考える理想の治療も教えてください。



コラム連載（第9回）

こちらは、当院で働く様々な職種の方に、当院にまつわるお話や、メンタルヘルスに関することなど幅広い形で情報提供をさせていただく企画です。第9回は、当院公認心理師の武藤氏に執筆していただきました。

皆さんは、烏山病院の敷地内にある花壇に、様々な植物が生えているのをご存じですか？

烏山病院の正面の看板の下や、入口にある円形花壇、入院棟の入口に沿って広がる花壇には四季折々で、様々な花や草木が植えられています。心理療法室では、コロナ禍で外出が自由にできない病棟の患者さんに対し、少しでも入院環境を快適にという思いから、園芸を一緒に行う取り組みを始めました。

コロナ禍以降から、現在も時に治療の一環として、患者さんと一緒に水撒きから始まり、植物の種を植える、また環境整備の一環として草木を剪定するなど、様々な園芸活動に取り組んでいます。

季節により様々な草花が芽吹きますが、通年葉が茂っている、ローズゼラニウムやレモンバーム、ローズマリーは良い香を放ちます。香りを嗅ぐと、嗅覚の情報が感情や記憶をつかさどる脳の脳辺縁系に直接伝わります。リラックス効果があり、記憶の想起や脳の活性化と集中、時には睡眠の質の向上にも繋がるとも言われています。

院内を散歩した際は、是非、これらの葉をこするように触ってみてください。とても良い香りで、1日穏やかに過ごすことができるかもしれません。他にもシロタエギクやキンギョソウなど、綺麗な花を咲かせる植物も生えています。また、花壇には小さなサボテンが植わっていますので、是非探しながら散歩をしてみてくださいね。



ローズマリー



ローズゼラニウム



レモンバーム



玉サボテン

作業療法室夏祭り開催・ジェラート屋訪問報告

作業療法室

7月31日に、作業療法プログラムリボン主催の夏祭りを開催しました。約20名のメンバーが企画から手掛け、運営を行い、当日は142名のお客様をお迎えしました。

メンバー構成も一新した今年、予期せぬハプニングにもお互い協力し合い、工夫を凝らしておもてなしができました。全員が責任を持ってやり遂げ、深い達成感を味わっています。このイベントでの笑顔と絆が、参加された皆様の今後の人生の糧となることを願っております。



7月3日にOTプログラムとして、C3病棟の患者様とジェラート屋に行きました。当日は、注文から支払いまでご自身で行って頂きました。イチゴやラムレーズン、シードルのフレーバーを頼張っていました。終了後は、記念撮影をし、希望者には写真をプレゼントしました。後日、病棟Nsやご家族に写真を見せて報告していたとのことで、スタッフとしても嬉しかったです。今後も、患者様の希望に沿ったプログラムを立案・運営してまいります。



デイケア活動

T.I さん

私は金曜日午前に行われている委員会プログラムに参加しています。活動内容は主に病院の広報誌あおぞら、烏山東風の会の記事作成、そして、白封筒作成やメモ帳作成など多岐にわたります。業務内容は同時並行的に進行していて、記事作成は特に締め切りがあり、時間に追われます。

私はあおぞらの記事を作成する業務は2回目になります。社会が高度化するなか、生成AIを用いずに文章作成することは大変労力があるものだと改めて思いました。文章作成が本当に苦手なので、委員会プログラムを皮切りに文章作成力を向上したいです。また、決められた時間内で業務を終了するためのタイムマネジメントや、当月の業務内容を決める際のディスカッションでは特に複数人におけるコミュニケーションスキルを磨けています。

私は継続的にこのプログラムに出ることで、今後の就労に向けて様々なスキルを身に付けていきたいです。



《 7 月 》	入 院(前 月)	外 来(前 月)
◆延 患 者 数	8,834(8,624)	6,818(6,535)
◇一日平均患者数	285.0(287.6)	262.2(251.3)
◆診 療 実 日 数	31(30)	26(26)

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

診察時間：月曜日～土曜日 8時30分～17時

電 話：月曜日～土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日 8時30分～14時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。こちら烏山病院のホームページのQRコードとなります。

ぜひご覧ください。



烏山病院精神医学講座Instagramが開設されました。

随時情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【編集後記】

本号では、依存症治療に関する懇話会について、そして院内で取り組んでいる園芸活動についてご紹介しました。

懇話会では、医療機関や行政、福祉、当事者団体など、さまざまな立場の方が集まり、「こんなことができたらいいいね」と具体的な連携について話し合いました。園芸活動では、患者さんと一緒に植物を育てながら、季節の変化や香りを楽しむ時間が大切にされています。

一見するとまったく違う二つの取り組みですが、どちらにも、人と人とのつながりや、誰かと一緒に何かを育てていくような温かさがあるように感じました。大きなことを一度に変えるのは難しくても、こうした日々の小さな積み重ねが大事なのだと思います。

まだまだ暑い日が続きますが、朝夕の風や草花の様子には、少しずつ秋の気配も感じられる頃です。忙しい毎日の中でも、ときにはふと足を止めて、身近な季節の変化を楽しめたらいいですね。

(広報委員 五十嵐)